



平成 29 年度 町長施政方針

町民の皆さまと心をひとつに 個性が輝き続けるまちづくり

平成 29 年町議会定例会 3 月会議が、2 月 20 日から 3 月 21 日までの 30 日間にわたり開催され、初日に高橋昌造町長が町政運営の所信を述べました。

ここでは、町長の平成 29 年度施政方針（要旨）と予算の概要についてお知らせします。

皆さまも既にご存じのとおり、不來方高校野球部が第 89 回選抜高校野球大会の 21 世紀枠に選ばれました。彼らはわずか 10 人で大きな成果を挙げましたが、この陰には野球部小山監督の「環境に嘆かず、できることを考え、実行する」という信念と覚悟があつたものと思います。「たった 10 人」ではなく、10 人でできること考え、甲子園を目指してがんばる彼らの姿は、私たちのまちづくりにおいて手本となるものであります。

また、不來方高校の音楽部は、昨年 10 月の第 69 回全日本合唱コンクール全国大会高等学校部門で 9 年連続の金賞、6 度目の文部科学大臣賞に輝きました。さらに、同部所属の竹内菜緒さんが、昨年 12 月に開催された第 70 回全日本学生音楽コンクール全国大会の声楽部門高校の部で第 1 位に選ばれ、第 89 回選抜高校野球大会の開会式で国歌独唱をするなど、

すばらしい成果を上げております。

矢中町では、小中学校の児童・生徒の皆さんによる音楽の取り組みも盛んであり、地域にも音楽に親しむ方がたくさんおいでです。この「音楽を愛する心」はまちの宝であり、町民歌にある「うたごえの相和すところ」を目指したいという思いで昨年 11 月に「音楽のまち」を宣言しました。

矢中町は日々成長しており、未来へ向かって変わろうとしておりますが、変わってはいけないものがあります。それは「ふるさとを愛する心」です。

私は、音楽とふるさとを愛する心に胸に、第 7 次矢中町総合計画の基本理念であります「希望と誇りと活力にあふれ躍動するまちやばば」の実現を目指し、個性を生かして輝き続ける矢中町を町民の皆さまとともに作り上げていくため、今後も精力的に取り組んでまいります。

平成 29 年度においては、財政運営

は厳しい状況であるものの、将来に向けた積極的な投資や先駆的な取り組みを地方創生として推進します。まず、ウェルネスタウンプロジェクトとして、健康と医療に注目した政策を「地域おこし協力隊」を迎えて展開します。また、ローカルブランド

ィングで町の魅力を明確なイメージにして戦略的に発信し、産業振興と移住・定住促進を同時に推し進めます。道路網の整備については、矢中ス

1 号線道路拡幅整備などの岩手医科大学附属病院へのアクセス道路の整備を行うほか、通学路などの交通安全施設整備を着実に推進します。

また、地域公共交通網形成計画を策定し、矢幅駅の東西を起点とした公共交通のあり方について、全面的に見直しを行います。

2 年目となる第 7 次矢中町総合計画においては、新たに移住・定住す

る方々や企業の進出を、矢中町のこれからの成長の糧としつつ、町民憲章に掲げる「和といたわりと希望の町」の実現を常に目指し、着実に行政運営を遂行してまいります。

平成 29 年度当初予算の概要について、第 7 次矢中町総合計画の施策の大綱であります、町の将来像の実現に向けた 7 つのまちづくりの方針に沿って、主要な事業に関し具体的な取り組みや直面する課題についてご説明申し上げます（左ページ参照）。

平成 29 年度は、第 7 次総合計画に掲げる「ひとを豊かに育み見守るまち」「自然とひとが共生するまち」「持続的な力を蓄え活力あるまち」「みんなで作る協働のまち」を本町の将来像として、各種計画が確実に実行できるよう取り組んでまいります。

町民の皆さまの一層のご理解とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成 29 年度 施政方針の主な施策

① 健やかな生活を守るまちづくり

■ **高齢者の生活支援・介護予防**…高齢者が住み慣れた地域で安心した生活を送ることができるよう「地域包括ケアシステム」の構築に向け、在宅医療と介護の連携に加え、介護予防・日常生活総合支援事業を実施します。

■ **子育て支援の拡充**…子ども医療費助成給付対象者を中学生まで拡大するほか、おたふくかぜ予防接種の費用助成を実施します。また、男性不妊治療費への助成を行います。

■ **健康づくり**…国保ヘルスアップ事業と特定健診・特定保健指導を連動させた町独自の事業を展開し、生活習慣病の発症予防および重症化予防を推進します。また、75歳以上の方を対象としたインフルエンザ予防接種および肺炎球菌ワクチン接種の無料化を実施します。

■ **地域福祉の充実**…生活困窮者支援のための国のモデル事業を継続利用しながら、日常生活支援事業などの実施体制を整備し、地域の困りごとは地域で解決できるような共生社会の実現を目指します。

■ **障がい福祉の充実**…第4期障がい福祉計画に基づき、紫波地域内における「障がい者基幹相談支援センター」を設置し、障がい者や障がい児の方々の身近での相談支援にも対応できる体制を整備します。

② 時代を拓き次代につながるひとづくり

■ **児童福祉の充実**…町内保育施設4カ所において体調不良児保育事業を実施するとともに、医療機関で病児保育事業を実施します。

■ **学校教育**…矢巾町いじめ問題対策委員会からの調査報告書およびご提言を受けて、本年4月に「矢巾町いじめ防止対策に関する条例」を制定し、いじめ許さない、いじめを見逃さない学校づくりを推進します。

■ **社会教育**…「やはばーく」内の図書センターに、県内初となる電子図書館サービスを導入し、利用者のニーズに応じた図書やイベントの充実に努めます。

③ 利便性と発展性を高めるまちづくり

■ **市街地整備**…矢幅駅前地区について、事業完了を目指して努力するとともに、確定測量や換地処分に向けた準備を進めます。また「やはばーく」で各種イベントを開催し、中心市街地の活性化とにぎわい創出に努めます。

■ **幹線道路網の整備**…町道中央1号線について、平成31年9月の岩手医科大学附属病院の開院に合わせて拡幅整備を進めます。また、県事業の徳田橋の架け替えについて、今年度から整備事業に取り組みます。

■ **矢巾スマートインターチェンジの整備**…平成30年の供用開始に向けて本体工事を一層推進するとともに、周辺道路についても順次整備を進めます。さらに、スマートインターチェンジ周辺の土地利用を図るため、関係機関との協議を引き続き行います。

④ 快適性と安全性を高めるまちづくり

■ **上水道**…水需要への対応を視野に入れながら、新配水場の建設、水道施設の更新と老朽管路の耐震化に重点をおき、

安全、安心で安定的な水の供給に取り組みます。

■ **防災への取り組み**…常備消防の維持と消防団の活性化および消防団員の確保、機能別消防団員の増員、ポンプ車の更新を行うほか、非常用の食料品や避難所で使用する衛生用品を備蓄します。

■ **空き家対策**…危険なまま放置された空き家の迅速な撤去や周辺への被害防止を実施する仕組みを検討するとともに、利用可能な空き家についてはその活用を視野に入れた取り組みを行います。

■ **移住・定住促進**…町独自の地方創生事業の一つとして、町内に定住を希望する方の住宅取得に係る利子補給を引き続き実施し、移住・定住化の促進につなげます。

⑤ 産業の活力を高めるまちづくり

■ **農業の振興**…「中山間地域等直接支払交付金」や「多面的機能支払交付金」などを活用し、経営規模の拡大や戦略作物の生産促進を図ります。また、「新規就農給付金」をはじめとする各種制度を活用し、農業従事者の確保・育成を支援します。さらに、農業経営の法人化を推進するとともに、経営の質の向上を支援します。

■ **6次産業化の推進**…これまでの支援を継続しつつ、農業者の意識やレベルに応じた支援を行うとともに、販売会や商談会などの実践的な取り組みを強化します。

■ **商工業の振興**…中心市街地の活性化とにぎわい創出に向けて、ヘルスケアビジネスなど新たな産業の創出や、町内小売業者の活性化を支援する取り組みを進めます。

■ **企業誘致の推進**…矢巾スマートインターチェンジの新設による地理的優位性を活かし、新たな企業立地用地確保の検討を進めつつ、企業誘致活動に取り組みます。

■ **観光の推進**…町観光協会と連携を図りながら、地域資源の掘り起こしを進めます。また、食と農業の体験型観光など、新たな観光振興に努めます。

■ **特産品の開発**…昨年披露した「やはばおでん」を町内外に広く周知します。また、既存の特産品について見直しを検討し「本町の顔が見える特産品」の開発に取り組みます。「塩彩プロジェクト」で開発した各種減塩食品の販路拡大と、一般家庭向けのパッケージ開発を支援します。

⑥ 豊かな生活環境を守るまちづくり

■ **循環型社会の形成**…省資源、省エネルギー、ゼロエミッション、3R運動など、地域特性にあわせた循環型社会の形成に向けた取り組みを推進します。

■ **地球温暖化防止**…町内防犯灯や公共施設へのLED照明の導入を推進し、二酸化炭素排出量の削減を図ります。

⑦ 安心と信頼が寄せられる行政経営

■ **適正な行財政運営の推進**…町民の皆さまの信頼に応えるべく事務事業評価を実施し、行政に求められる課題に柔軟に対応できる人材育成と行政機構づくりに努めます。

■ **住民協働のまちづくり**…町民の皆さまのニーズを踏まえた行政運営を行うため、町民と行政が一体となった企画立案による各種施策を推進します。

予算

107億600万円

限られた財源を有効に活用

主な事業の内容

<単位：万円（千円を四捨五入）>

民生費

- ▶多機関協働包括的支援体制構築事業 615
- ▶重度心身障害者医療費助成事業…… 7,681
- ▶障害者支援事業……5億 124
- ▶障害児福祉事業…… 8,762
- ▶日常生活支援事業…… 997
- ▶児童館運営事業…… 7,560
- ▶保育委託事業……6億3,383
- ▶私立保育園助成事業…… 1,150
- ▶認定こども園施設型給付事業……2億 211
- ▶母子福祉医療費助成事業……1億 291

土木費

- ▶道路維持事業…… 5,264
- ▶除雪事業…… 5,009
- ▶町道改良舗装事業…… 305
- ▶生活道路整備事業…… 648
- ▶交通安全施設整備事業…… 9,929
- ▶矢巾スマートインター
チェンジ整備事業……8億 819

労働費

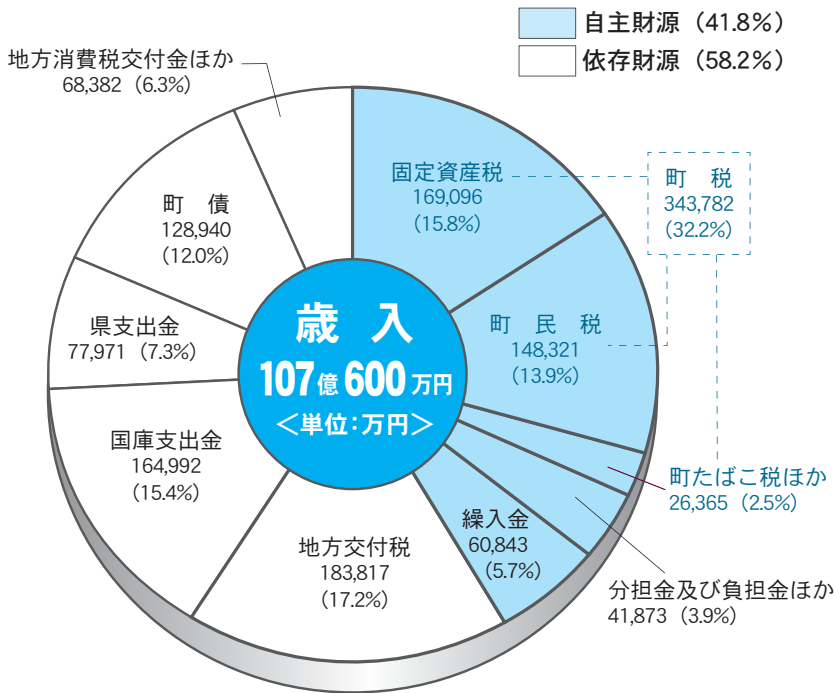
- ▶就労者支援事業…… 2,284
- ▶雇用安定化対策事業…… 72

予算は、4月1日から翌年の3月31日までの一年間に、町がどんな事業にどれくらいの経費をかけて行うかを示すもので、一般会計と特別会計、企業会計の3つからなっています。

■一般会計予算

平成29年度の一般会計当初予算は、第7次矢巾町総合計画前期基本計画の2年目にあたり、既存事業の緊急性や費用対効果などを検討しながら、前年度に対して約14億2千7百万円増額の107億6百万円となりました。

町に入るお金（歳入）について、自主財源である町税は、町民税や固定資産税の伸びが期待され、約6千6百万円の増額となる見込みです。自主財源全体では、基金からの繰入金などに



*** 財 政 用 語 解 説 ***

■地方交付税＝町の財政力に応じて国から配分されるお金 ■町債＝大きな事業を行うときに借りるお金 ■国庫・県支出金＝事業に対し国や県から交付される補助金など ■歳入金＝積立てした基金を取り崩したお金 ■総務費＝全般的な事務経費や財産管理、統計調査費、広報経費など ■民生費＝高齢者や障がい者、児童などの社会福祉のための経費 ■公債費＝事業を行うために借りたお金の返済金 ■自主財源＝町税や歳入金など町が独自に調達できるお金 ■依存財源＝国や県から交付されるお金や割り当てられた収入

総務費



42,840 円

衛生費



37,766 円

土木費



84,367 円

民生費



120,818 円

一般会計予算を
町民一人当たり
でみると・・・

392,737 円

平成29年3月1日
現在の人口27,260人

主な事業の内容

<単位：万円（千円を四捨五入）>

■ ■ ■ ■ ■ 衛生費 ■ ■ ■ ■ ■

- ▶成人検診事業…………… 4,053
- ▶母子保健事業…………… 4,681
- ▶予防接種事業…………… 6,802
- ▶ごみ処理場運営事業……………4億 4,536
- ▶し尿処理場運営事業…………… 2,375
- ▶し尿処理施設整備事業……………2億 8,281
- ▶矢巾斎苑運営事業…………… 1,705

■ ■ ■ ■ ■ 総務費 ■ ■ ■ ■ ■

- ▶地方創生事業……………1億 1,440
- ▶コミュニティ推進事業…………… 3,161
- ▶電子計算業務導入事業……………2億 719
- ▶共通番号制度導入対策事業…………… 2,341

■ ■ ■ ■ ■ 農林水産業費 ■ ■ ■ ■ ■

- ▶6次産業化推進事業…………… 210
- ▶担い手育成事業…………… 1,480
- ▶生産調整推進対策事業…………… 894
- ▶農業生産振興対策事業…………… 3,422
- ▶日本型直接支払事業……………1億 8,275
- ▶ほ場整備事業…………… 550
- ▶かんがい整備事業…………… 3,528

■ ■ ■ ■ ■ 教育費 ■ ■ ■ ■ ■

- ▶小学校維持管理事業…………… 7,075
- ▶小学校教育振興事業…………… 2,578
- ▶中学校維持管理事業…………… 3,532
- ▶中学校教育振興事業…………… 3,954
- ▶芸術文化振興事業…………… 360
- ▶矢巾町公民館事業…………… 4,648
- ▶田園ホール管理運営事業…………… 5,934
- ▶共同調理場運営事業…………… 4,737

■ ■ ■ ■ ■ 消防費 ■ ■ ■ ■ ■

- ▶常備消防事業……………2億 4,145
- ▶非常備消防事業（消防団など）…………… 3,508
- ▶消防施設整備事業…………… 3,568
- ▶水防事業…………… 153
- ▶災害対策事業…………… 200

■ ■ ■ ■ ■ 商工費 ■ ■ ■ ■ ■

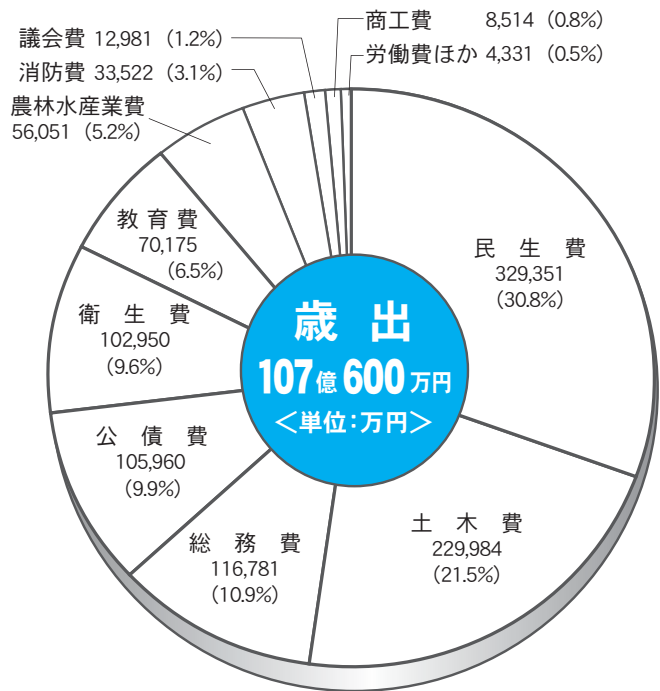
- ▶商工業振興事業…………… 1,342
- ▶中小企業支援事業…………… 11
- ▶企業誘致推進事業…………… 127
- ▶観光推進事業…………… 1,069
- ▶自然公園管理運営事業…………… 415
- ▶南昌グリーンハイツ運営事業…………… 805

特別会計は、国民健康保険事業など4特別会計で、総額約58億円となりました。駅前地区の整備事業を行う矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計は、約6億3千万円となっています。また、企業会計である上、下水道事業会計は、総額で約36億4千万円となっています。

より、前年比約3億円の増額となり、全体に占める自主財源の割合は41・8%となりました。依存財源では、事業にともなう町債の発行や地方交付税の増額が見込まれ、全体で約11億2千万円の増額となりました。

お金の使い道（歳出）では、地方創生の推進や道路新設改良事業、子育て支援の拡充などにより増額となっています。

■ 特別会計・企業会計予算



平成 29 年度特別会計・企業会計の予算 単位：万円（千円を四捨五入）

会計名	予算額	会計名	予算額
国民健康保険事業	295,302	水道事業	収益的支出 50,993
介護保険事業	203,894		資本的支出 132,249
後期高齢者医療	17,929	下水道事業	収益的支出 110,730
矢幅駅周辺土地区画整理事業	62,607		資本的支出 70,305

消防費ほか



21,771 円

教育費



25,743 円

農林水産業費



20,562 円

公債費



38,870 円